

駅  
STN.

# なんば広場における人の滞留と通行から捉えた 動的景観に関する研究

難波観光案内所  
Tourist Information Namba



# 背景及び目的

## 背景

- K・リンチ (1960)

「都市の中の動く要素、なかでも人間とその活動は静的な物理的要素と同じくらいに重要である」

⇔ 都市景観の研究は静的要素が中心

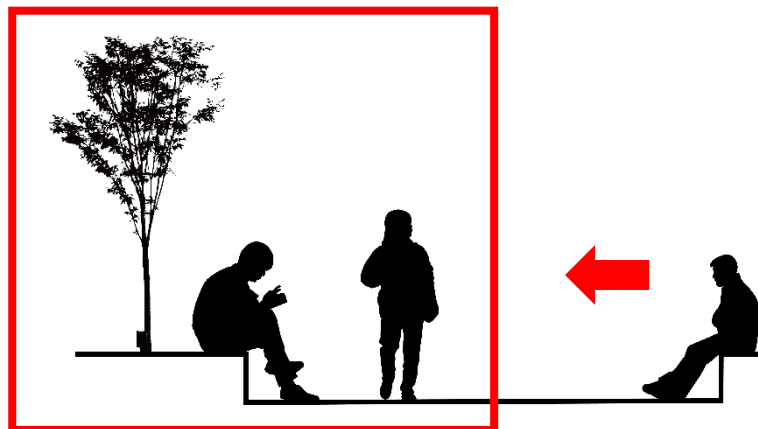
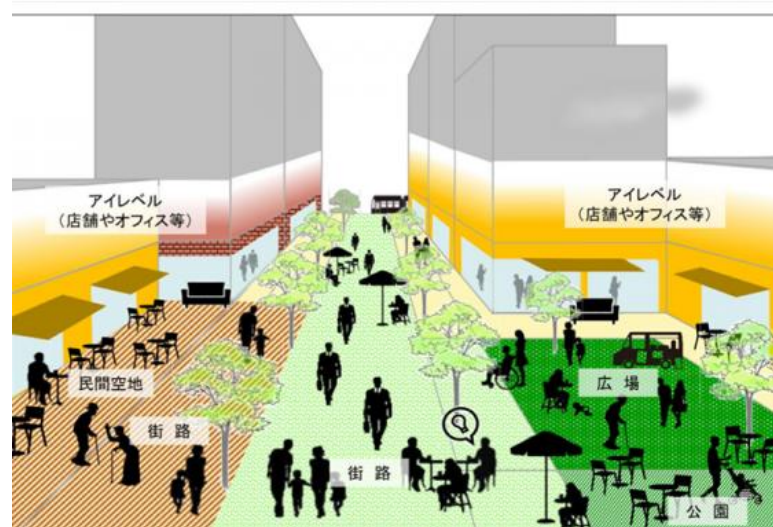
- 国土交通省 (2019)

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現を目指す動きの活発化

## 目的

広場空間における人の滞留と通行を

眺める「動的景観」の特性を探ること



「滞留者と通行者を眺める景観」

# 滞留実態の把握 <調査方法>

- **対象地**

なんば広場西側の滞留空間

- **調査手法**

Go Proを用いたルートセンサス調査  
による映像撮影

- **調査日時**

(平日) 2025年10月6日 (月曜日)

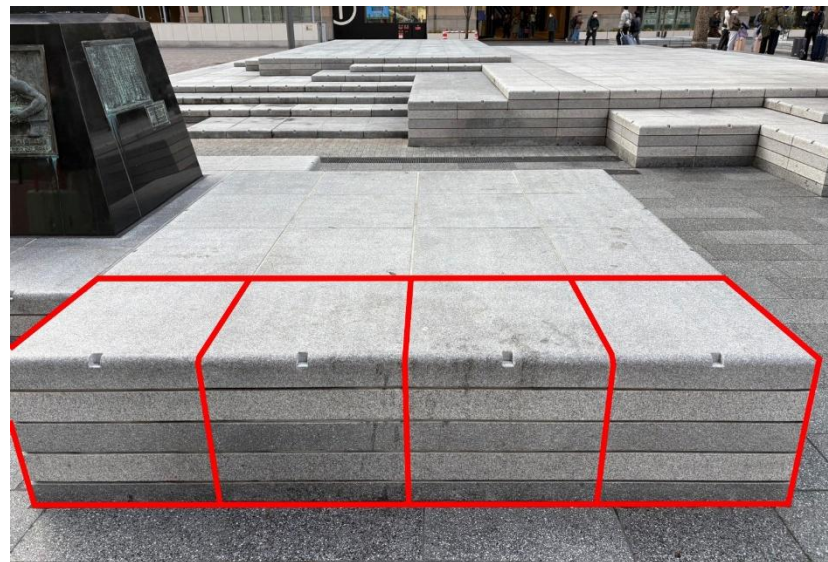
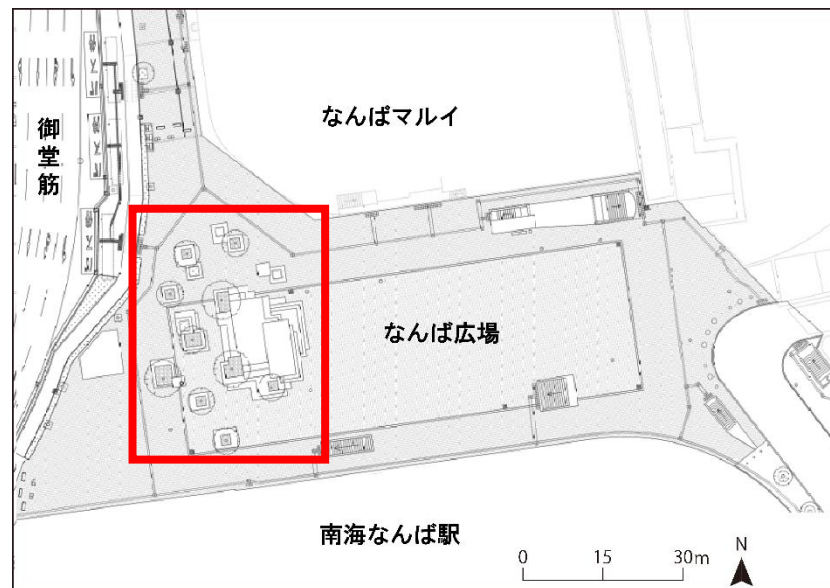
(休日) 2025年10月11日 (土曜日)

10~20時台



- **解析手法**

滞留者の位置をブロック単位で特定  
→地図上にプロット



10時台/休日



11時台/休日



12時台/休日



13時台/休日



14時台/休日



15時台/休日



# 滞留実態の把握 <結果>

16時台/休日



# 滞留実態の把握 <結果>

17時台/休日



18時台/休日



19時台/休日

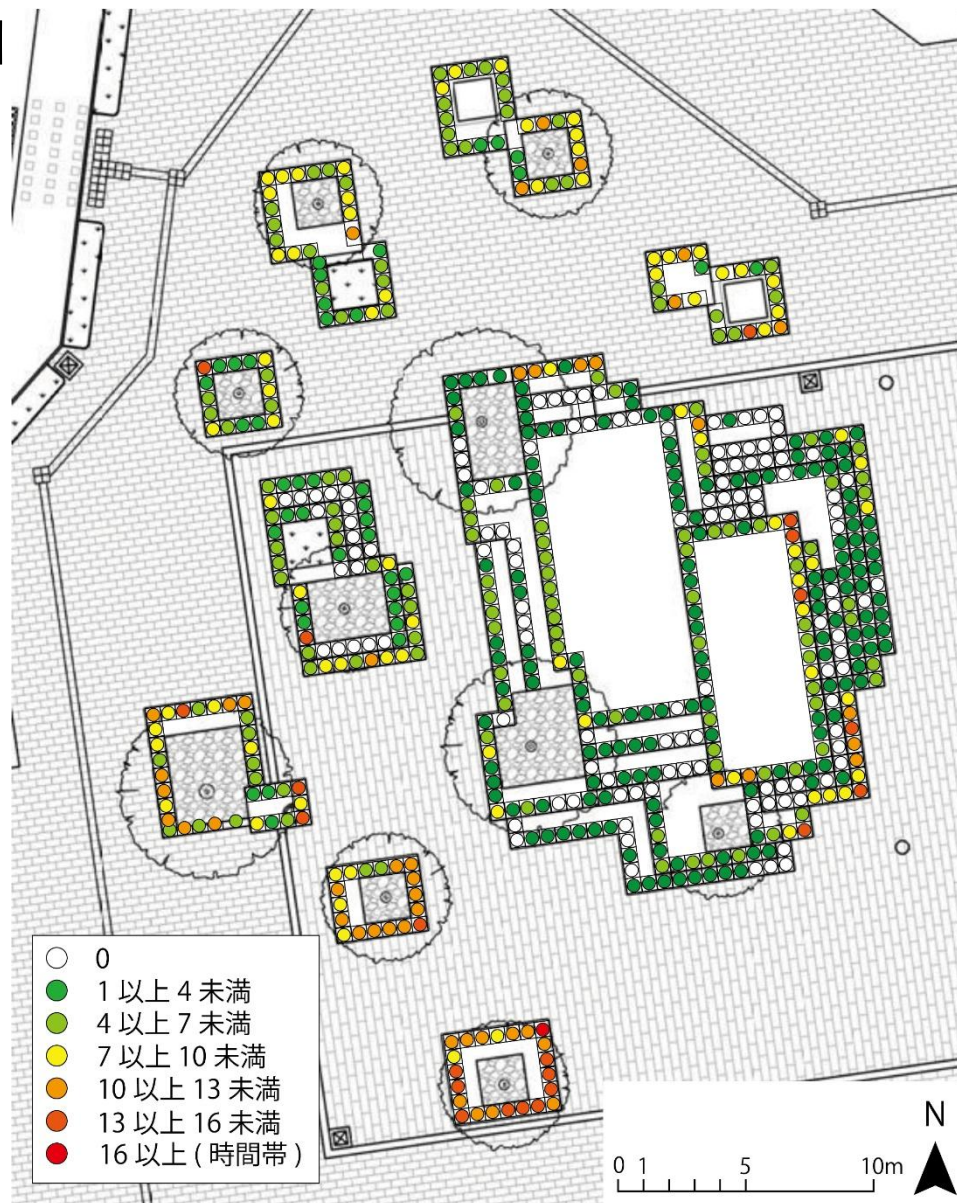


20時台/休日



# 滞留実態の把握 <結果>

22時間帯/平・休日



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 動的景観の捉え方



# 静的景観の分析 <調査方法>

## ・ 滞留者視点の景観写真撮影

(日時) 2025年10月~11月

(機材) Canon EOS Kiss X4

→全89景

## ・ 対象景観の抽出

➤ 奥行きの有無

➤ 滞留者の視認の可否

→42景

## ・ 景観構成要素の分類

Semantic Segmentation

〔画像内のピクセルに対して、  
〔建築物等の分類を割り当てるAI技術

→写真と照合、5要素に分類

## ・ 景観構成割合の算出

Adobe Photoshopの計測機能  
により各要素の景観構成割合  
を算出

### 【奥行きあり】



### 【奥行きなし】



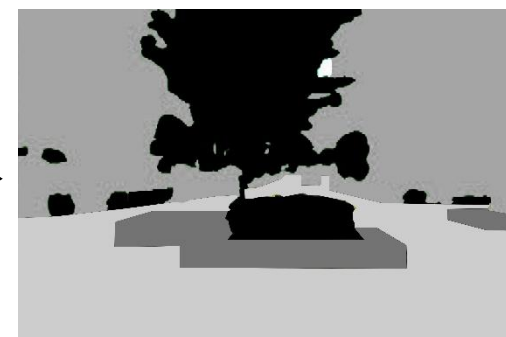
▼ 自動判別

Semantic Segmentation



□ 空
■ 建築物
■ 植栽
■ 道路

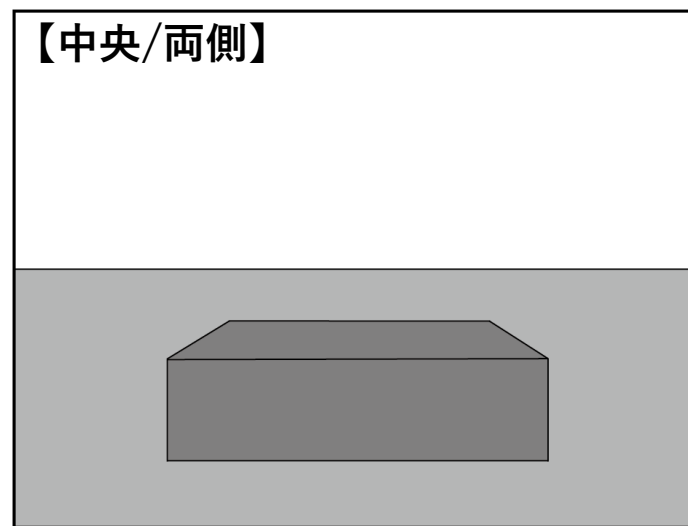
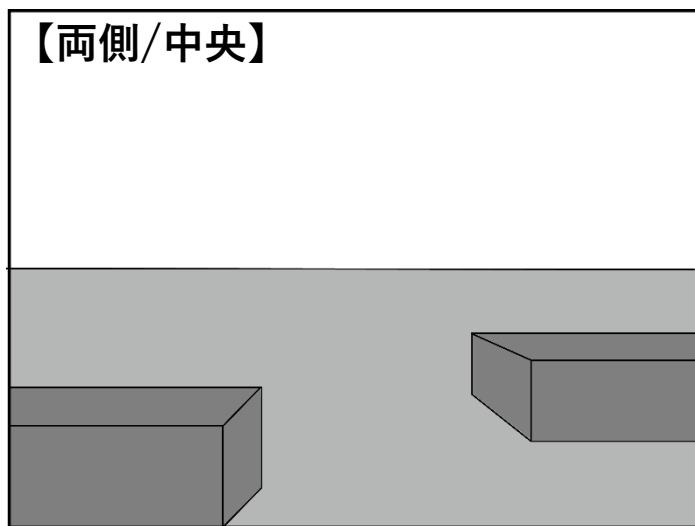
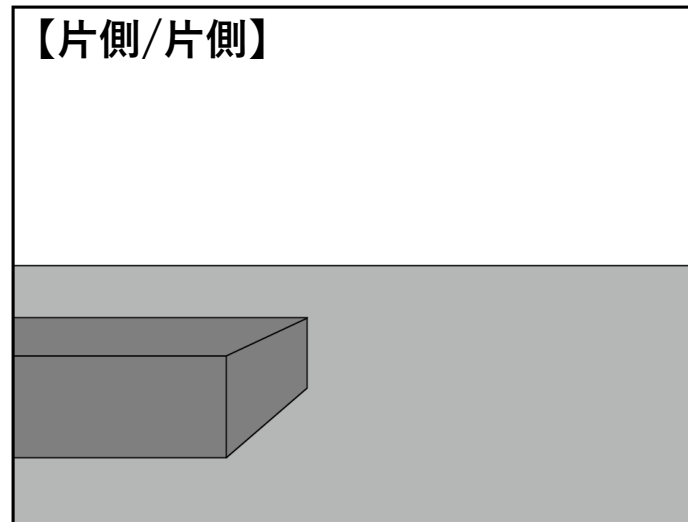
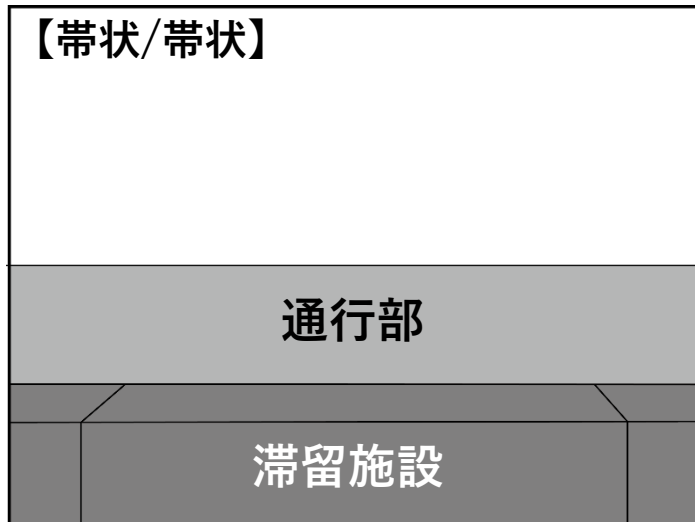
補正後



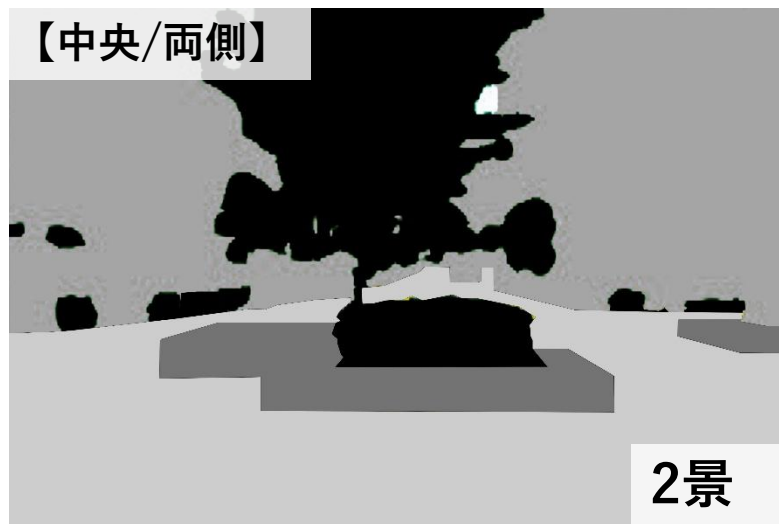
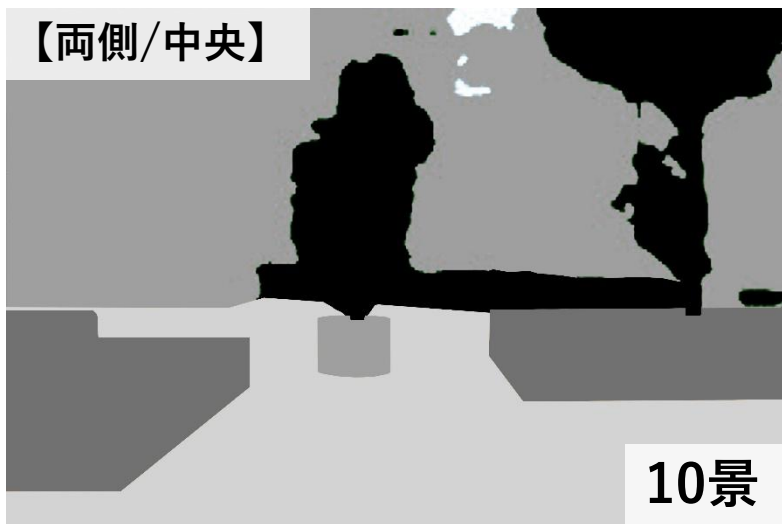
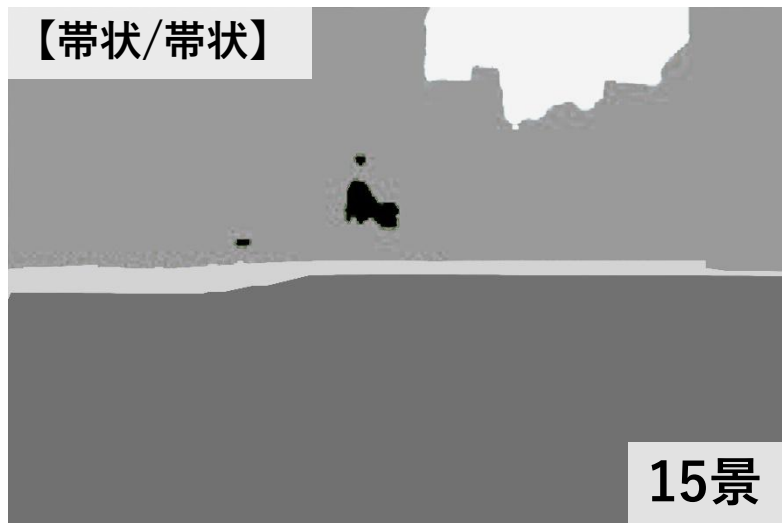
▶ 補正

□ 空	3.6%
■ 建築物とその他構造物	42.3%
■ 植栽	26.4%
■ 滞留施設	9.8%
■ 通行部	17.9%

タイプ分類



# 静的景観の分析 <結果>



空



建築物とその他構造物



植栽

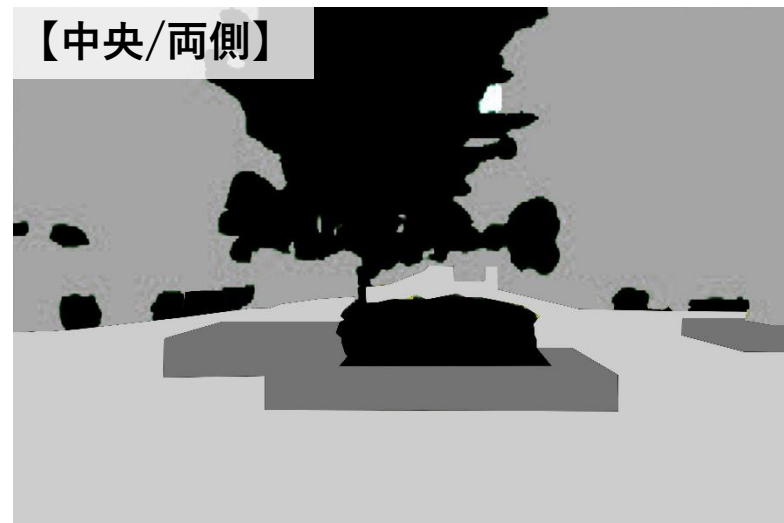
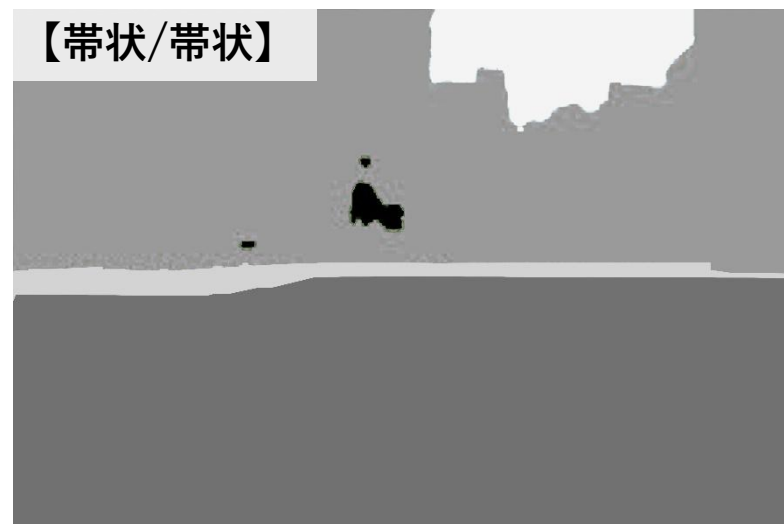
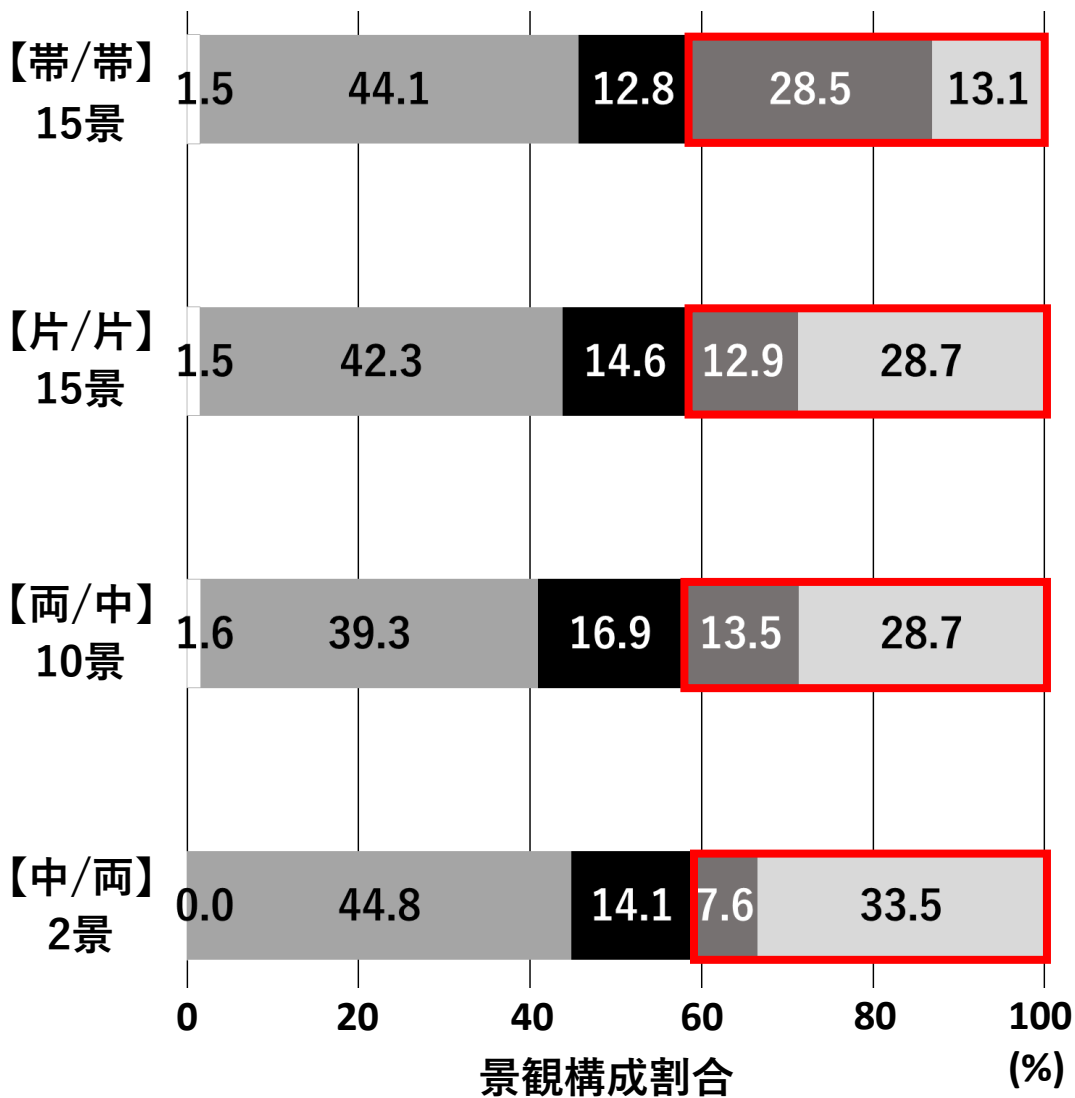


滞留施設



通行部

# 静的景観の分析 <結果>



## 【片側/片側】



## 【片側/片側】

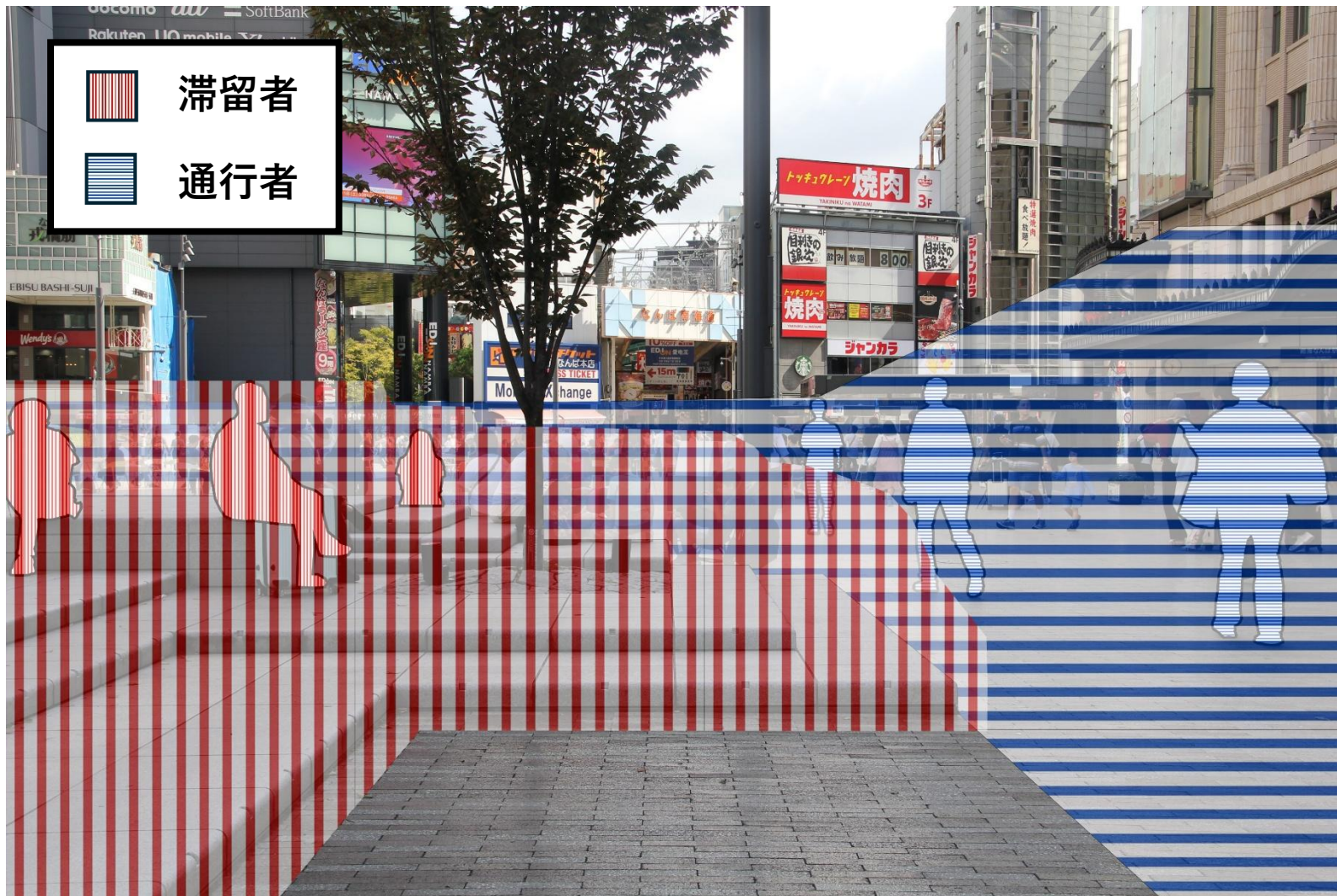


## 【片側/片側】

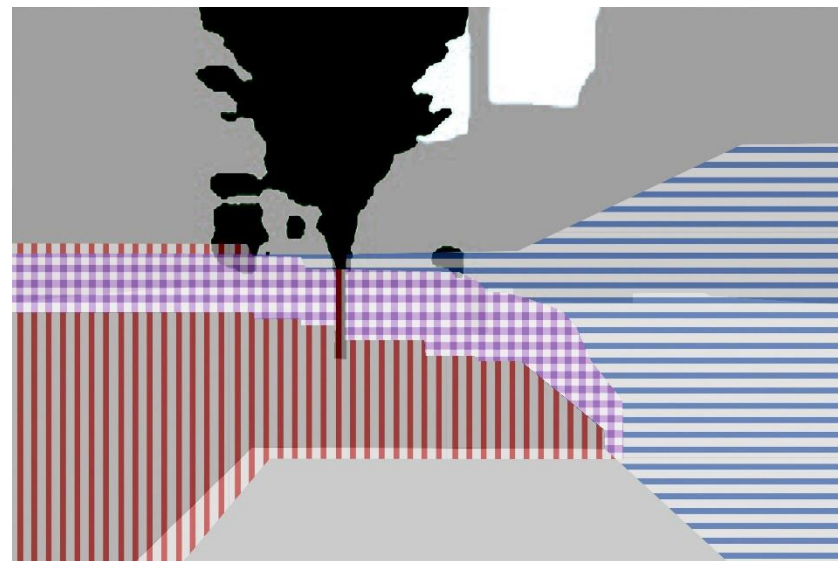
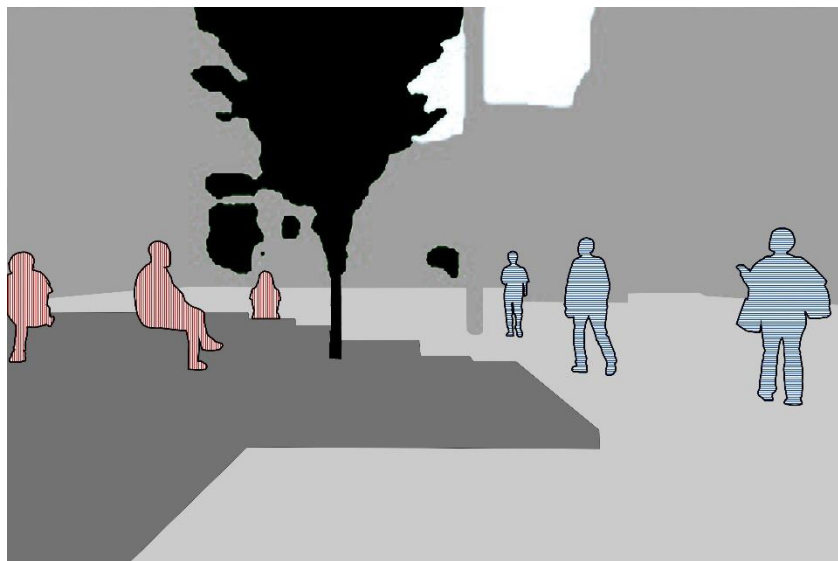







## 【片側/片側】

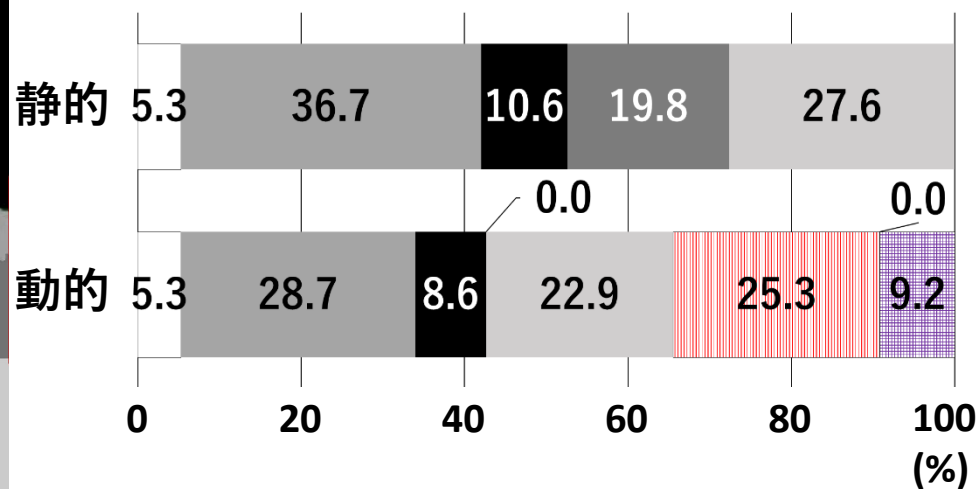


# 動的景観の分析 <調査方法>

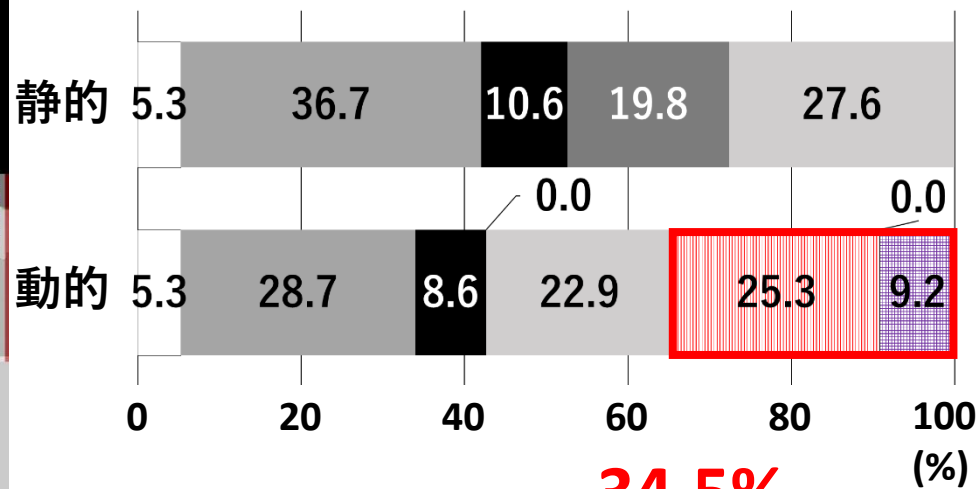
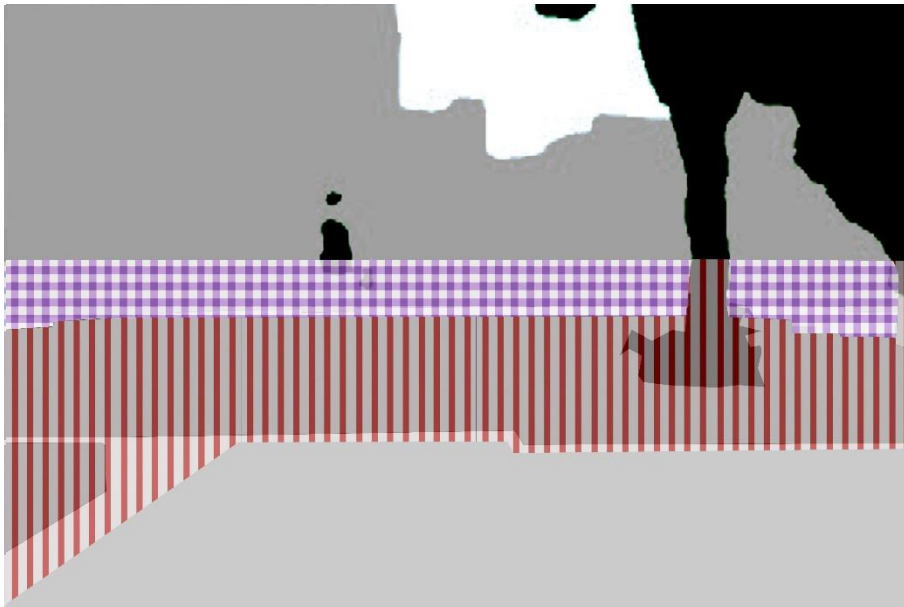


-  滞留者の動的な景観領域：**滞留景域**
-  通行者の動的な景観領域：**通行景域**
-  滞留者と通行者の重なる景観領域：**重畳景域**

【带状/带状】型



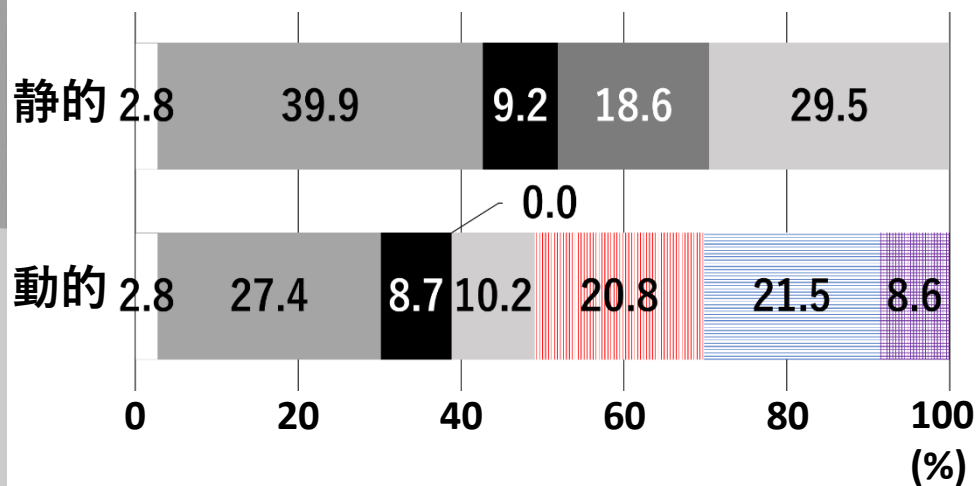
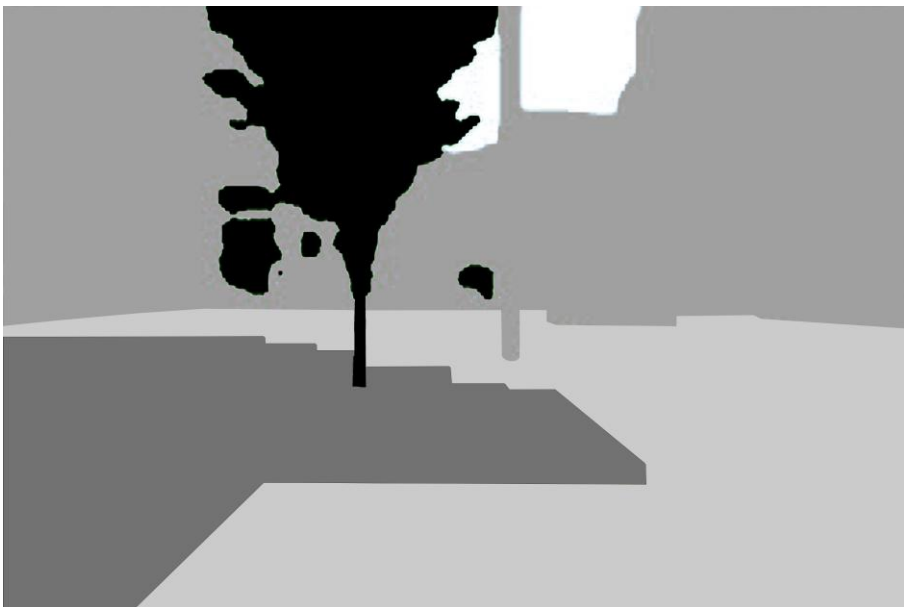
【帯状/帯状】型



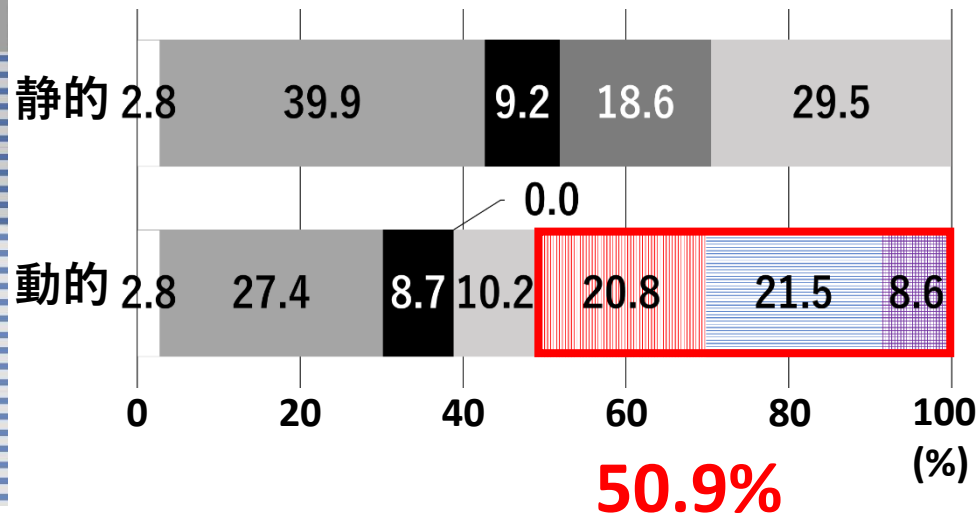
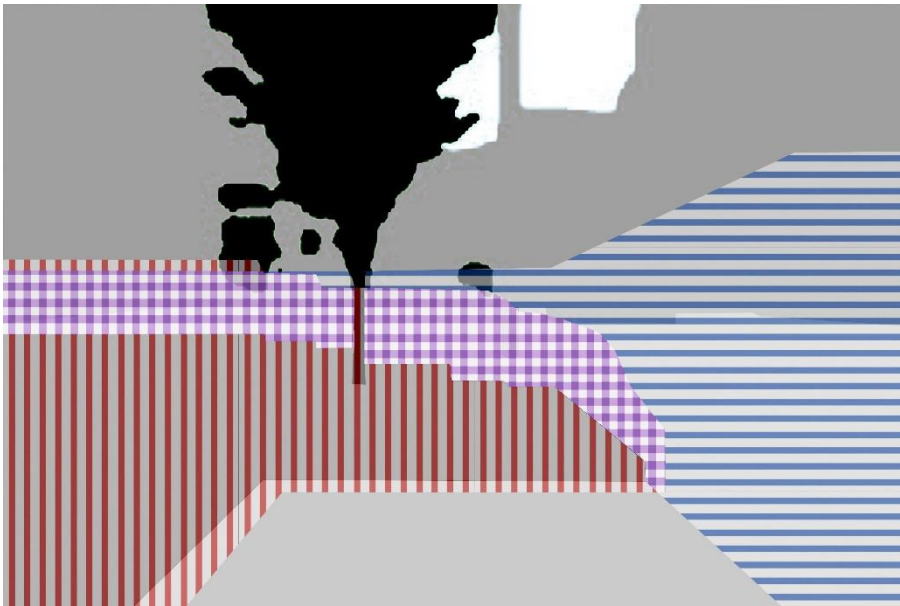
- 空
- 建築物その他構造物
- 植栽
- 滞留施設
- 通行部
- ▤ 滞留景域
- ▤ 通行景域
- ▤ 重畳景域

視界の奥に人の賑わいを感じる落ち着きのある動的景観

【片側/片側】型



【片側/片側】型



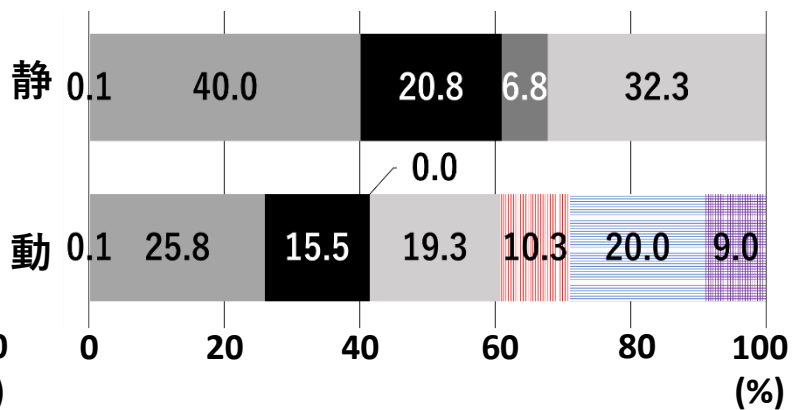
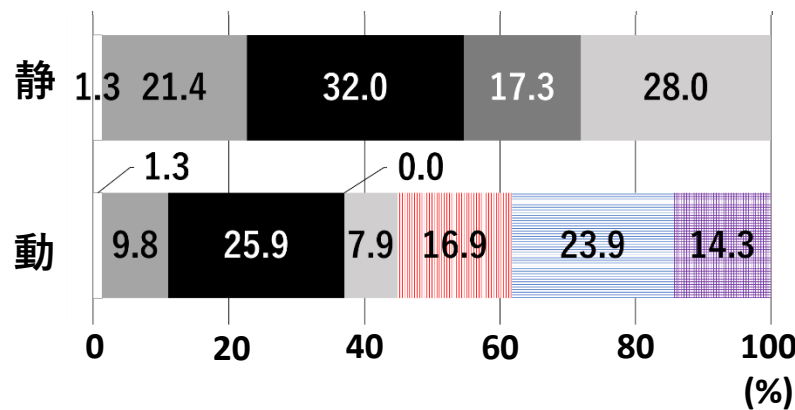
人の賑わいと落ち着きのバランスが取れた動的景観

# 動的景観の分析 <結果>

## 【両側/中央】型

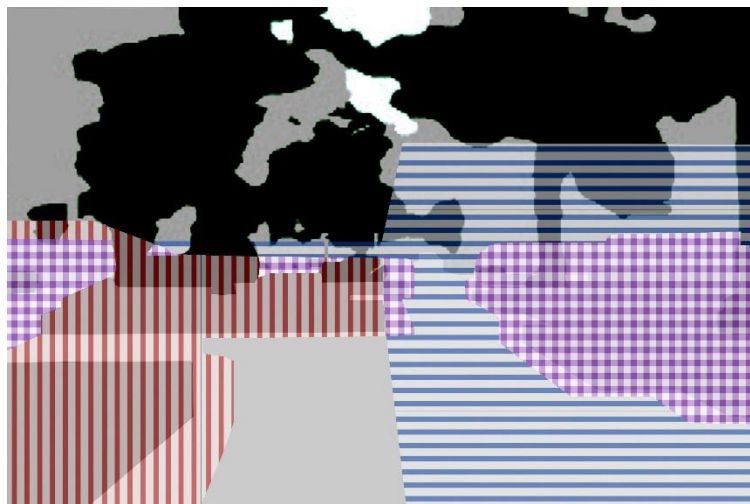


## 【中央/両側】型

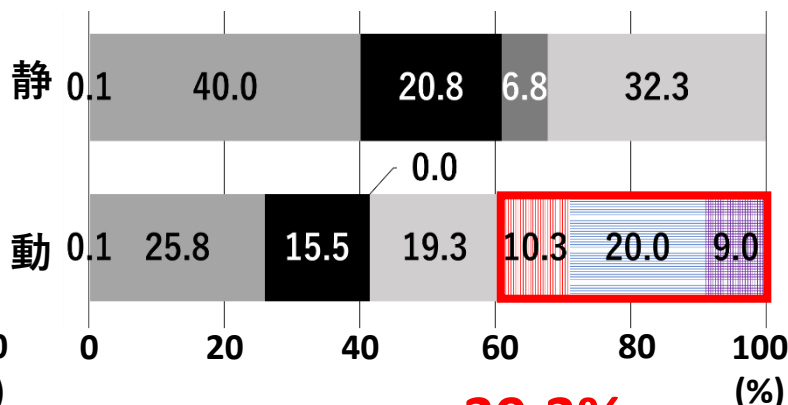
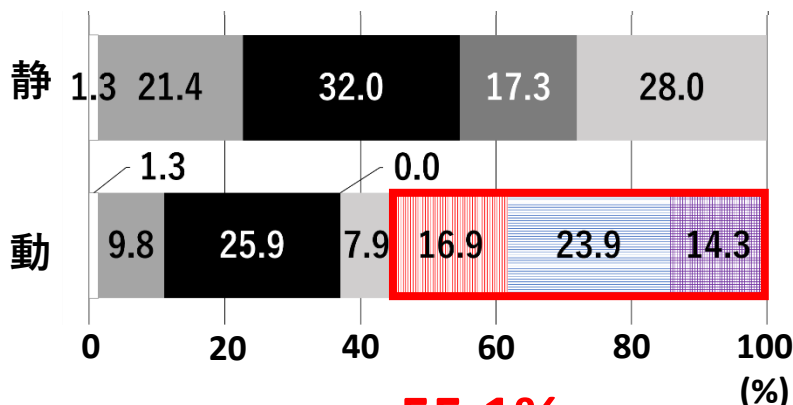
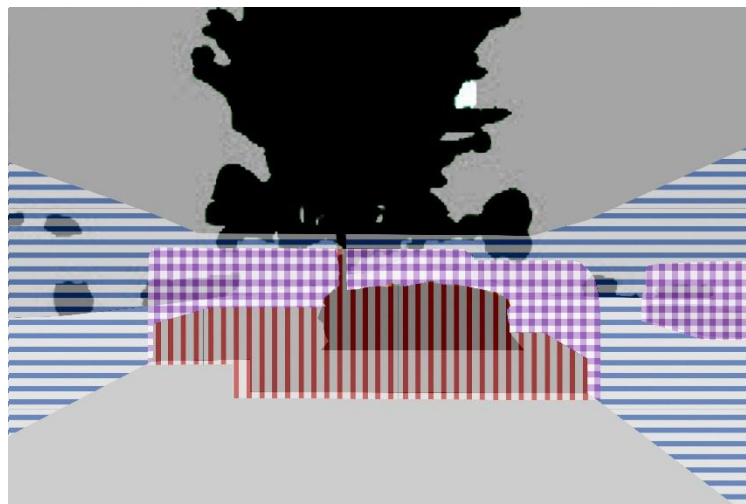


# 動的景観の分析 <結果>

## 【両側/中央】型



## 【中央/両側】型



人の賑わいを間近で感じ、  
多様な様相を見せる動的景観

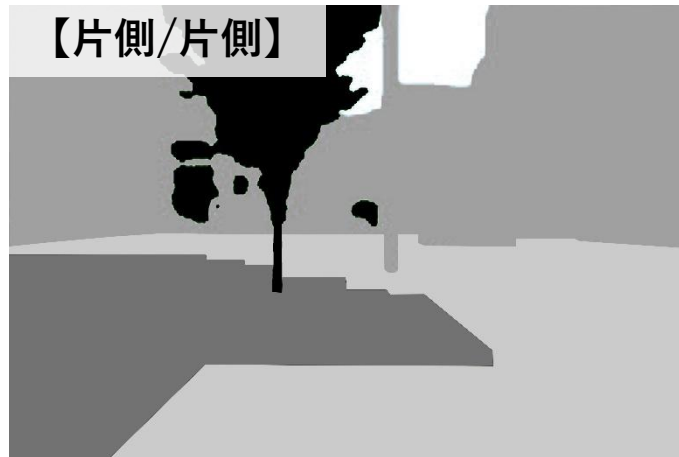
両側の人の往来によって視線が  
滞留者へと誘導される動的景観

# まとめ

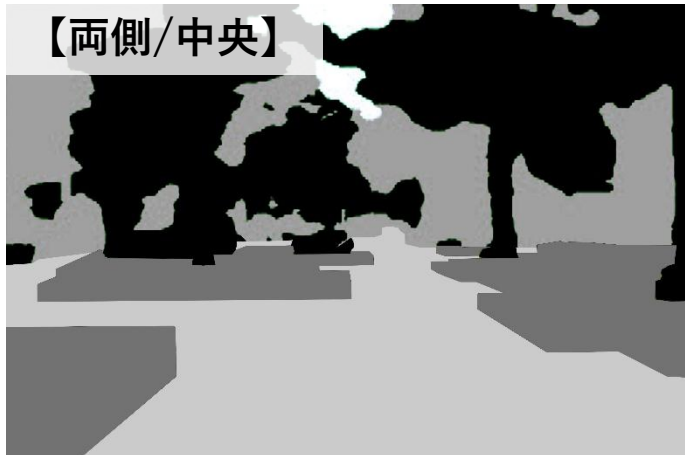
【帯状/帯状】



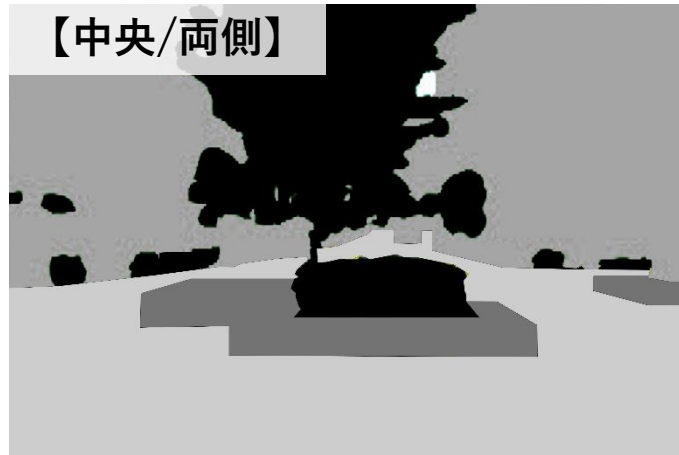
【片側/片側】








【両側/中央】



【中央/両側】



-  空
-  建築物と  
その他構造物
-  植栽
-  滞留施設
-  通行部

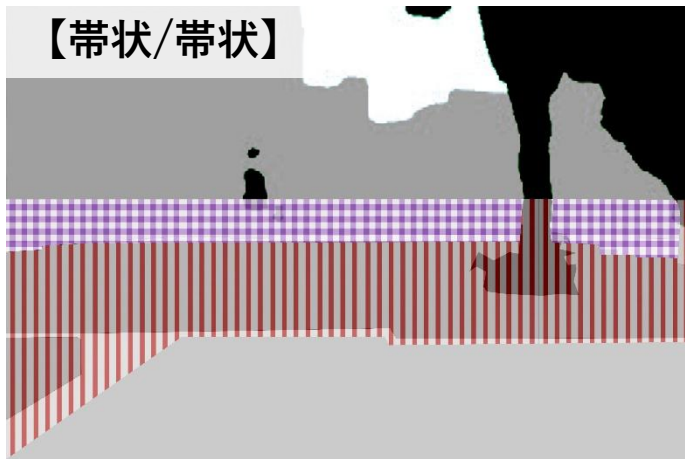
これまで

**静的な滞留施設や通行部の構成**  
に着目

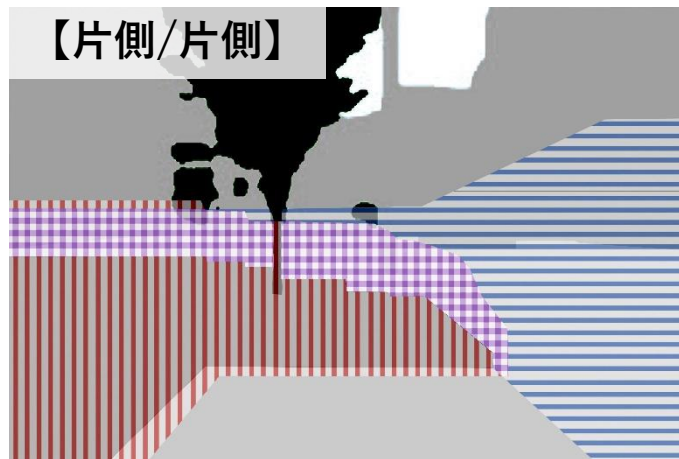


# まとめ

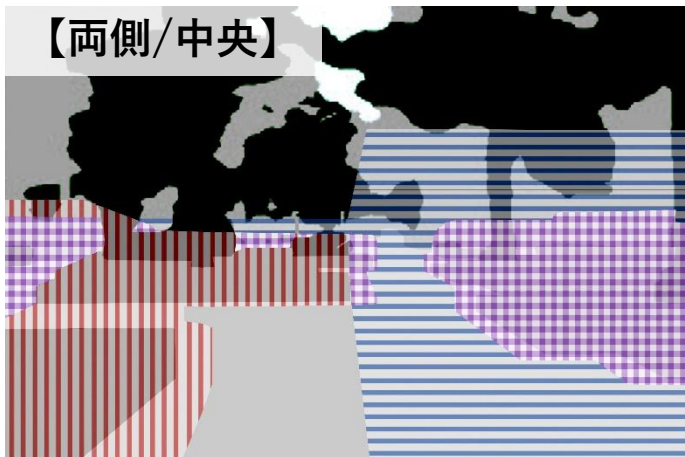
【帯状/帯状】



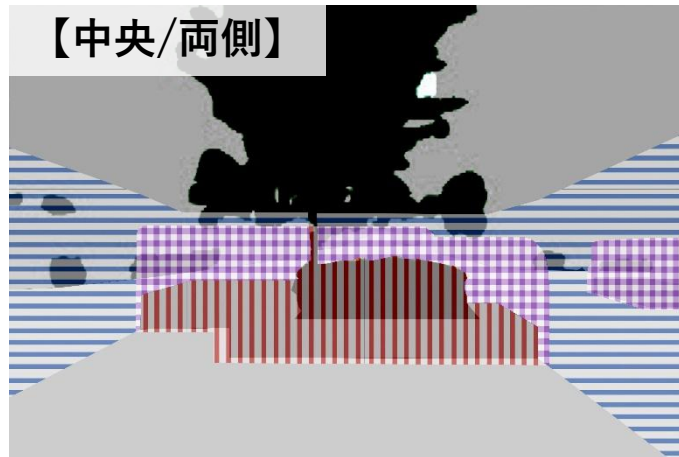
【片側/片側】



【両側/中央】



【中央/両側】



	空
	建築物と その他構造物
	植栽
	滞留施設
	通行部
	滞留景域
	通行景域
	重畳景域

これまで

静的な滞留施設や通行部の構成  
に着目

本研究

静的な要素だけでなく、それらの配置関係  
が生み出す動的景域の組み合わせの見せ方  
を考える手法を提示できた